

茅ヶ崎セントラルクリニック

土佐 飛翼（臨床工学科 / 臨床工学技士）

- 功 績** 土佐MEは、看護師3名が6～7月に退職し穿刺要員が大幅に不足した際、穿刺・返血業務を増やし透析業務を継続させました。通常であれば複数年の経験が必要な技術を短期間で自立し、透析業務を安全かつ確実に遂行、クリニックの安定運営に具体的かつ直接的に貢献。
- 推 薦 者** 野口伸一（事務長）
- 推 薦 理 由** 土佐MEは、当院の業務を深く理解し、自分に何ができるかを考えながら自主的に成長してきました。また、周囲に感謝を示し信頼関係を築くことでサポートを受けやすい環境を整え、その結果として高い技術と患者からの信頼を獲得しました。さらに、看護師欠員という危機において穿刺要員として代替し、透析運用を維持した実績は、組織に直接貢献する大きな成果です。成長力・協働力・実行力を兼ね備えた人材として、理事長賞に推薦いたします。

内 容

土佐MEは入職当初から、当院の透析体制や機器構成、患者層の特徴を理解しようと努め、自分に何ができるかを常に考えて行動してきました。単に指示を待つのではなく、機器の違いや操作方法を自ら調べ、現場で試し、不明点はその都度質問することで確実に知識と技術を積み重ねてきました。この自主的な学習姿勢により、通常では時間のかかる穿刺・返血・機器操作を短期間で習得し、一人前として業務を遂行できるレベルに到達しました。

また、土佐MEは周囲とのコミュニケーション能力にも優れており、看護師や先輩スタッフに対して礼儀正しく感謝を伝えることで「声をかけやすい」「頼みやすい」関係性を築いてきました。その結果、周囲から積極的なサポートや指導を受けられる環境を自ら作り出し、成長をさらに加速させました。このように「教えてもらえる人材」であることは、技術習得だけでなく、チーム内での信頼形成にもつながっています。

技術面では、全患者への穿刺が可能になり、患者から「痛くない」「上手い」と評価されるだけでなく、「俺に刺していいよ」と指名されるまでの信頼を得ています。プロの視点から見ても失敗が少なく安定した透析が行えるため、患者満足度と治療品質の両面で貢献しています。

そして最大の成果は、6～7月に看護師が3名退職し穿刺要員が不足した際、看護師の代替として穿刺業務に入り、窮地を救ってくれました。若手でありながら即戦力として組織を支えたこの貢献は、当院の安定運営に直結する非常に大きな価値であると評価しています。